

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の特徴	当社は総合福祉サービスを展開しており、様々な事業展開を行っています。当事業所は「ファミリアいしづかの理念」に基づき、馴染みの地域でいつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。
事業所名	ファミリアいしづか	管理者	藤井 由紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	個別研修計画に従い、職員それぞれのスキルアップに努める。研修で得た知識を情報共有し、事業所の質の向上に努める。	コロナの影響で、各研修が中止になってしまったが、ネットや参考書等で、職員それぞれスキルアップに努めた。	職員が個々に学んだことを職員間で共有できるとよいと考えます。	個別研修で個々に学んだことを所属会議にて共有する。
B. 事業所のしつらえ・環境	年に3回の大掃除は継続し、その際不具合が無い点検を行う。台風前後に不具合が無いか、事業所周りを点検する。	年に3回の大掃除を行い、不具合が無い点検した。大きな台風は無かったが、季節の変わり目ごとに事業所周りを点検した。	台風以外にも災害の危険性がありますので、平時から事業所内外の点検、環境整備をしていただければと考えます。	引き続き、事業所内外の点検、整備を行う。特に今年は事業所内の利用者、職員が過ごしやすくする為の整備を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	いしづか夏祭り、石塚住宅掃除ボランティアを継続し、地域の方と交流を図る。石塚住宅に向き「健康体操教室」を継続する。	コロナの影響で、地域の方と交流する事が出来なかったが、地域向けに新聞を作成し、回覧板で回して頂いた。ファミリア内の活動を調べて頂く取り組みを行った。	直接会って交流することは難しいと思いますが、引き続き地域と関わりが持てるように取り組んでいただければと考えます。コロナで交流出来なかったが回覧で、施設の情報を提供して頂けた。来年度も1~2回廻して欲しい。	地域向けに年3回、ファミリア内の活動を調べて頂く新聞を作成し、回覧して頂く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の住む地域行事の情報収集を行う。	情報収集には努めたが、コロナの影響で多くの地域行事が中止になった。	感染症により外出は難しい状況にありますが、感染症対策を講じた上で、地域行事に限らず、何かしら外に出られる機会を検討していただければと考えます。	現在、独居で住まわれている利用者が居る為、事業所だけでなく民生委員又は、地域の方々と共に支えていける仕組み作りを目指す。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議にて、地域住民の中に介護の事で悩んだり、困っている方等の事例検討を行う。	書面開催になる前は、地域住民の中で介護の事で悩んだり困ったりされている方はいらっしゃらないか声掛けを行った。	会場の場にこだわらず、委員や地域の方から連絡や相談等を受けられるような関係をつくっていただければと考えます。	対面ではなく書面開催であっても、ご家族の意見を頂き、運営に反映させる。地域向けの新聞に介護の相談困りごとを受け付けると発信する。
F. 事業所の防災・災害対策	独居利用者の連絡先一覧表を作成し民生委員に連絡出来るよう準備する。緊急持ち出しリストを作成する。	独居利用者の連絡先一覧表を作成し、民生委員にすぐさま連絡が出来るよう準備した。緊急持ち出しリストを作成した。	避難が必要な場合、避難所において要援護者の避難状況の確認を行うことになっているため、避難状況を円滑に確認できるように、関係事業所内に避難を行った場合は民生委員等々に情報提供するようにお願いします。	コロナ禍での火災水害を想定し、避難訓練を実施する。